

6) 講義計画 (担当者、テーマ等、キーワード)

- 第1回 9・26 (李洙任・重本直利) 講義概要、講義ガイダンス、「東アジアの地域性」、kw;地域性
- 第2回 10・3 (重本直利) 「過去責任と責任倫理」、kw;記憶・責任・未来
- 第3回 10・10 (重本直利) <ゲスト講師; 牧野英二> 「安重根・東洋平和論とカント・永遠平和論」、kw;平和
- 第4回 10・17 (重本直利) 「戦後補償問題からのアプローチ」、kw;強制労働
- 第5回 10・24 (重本直利) 「東洋平和論から経済共同体構想を考える」、kw;連帯経済
- 第6回 10・31 (李洙任) 「多文化共生視点からの東アジア理解」、kw; 「他者」理解
- 第7回 11・7 (李洙任) 「安重根の汎アジア主義について」、kw;汎アジア主義
- 第8回 11・14 (李洙任) 「文化の役割と経済活動の関連性」、kw;マイノリティーの経済活動
- 第9回 11・21 (李洙任・重本直利) 「国民国家を超えたグローバル観について」
- 第10回 11・28 (重本直利) <ゲスト講師; 平田厚志> 「日本仏教と戦争責任」、kw; 戦争責任
- 第11回 12・5 (李洙任) 「従軍慰安婦制度の本質」、kw;性暴力
- 第12回 12・12 (李洙任) <ゲスト講師; 戸塚悦朗> 「歴史認識問題、人権問題からのアプローチ」、kw;歴史認識
- 第13回 12・19 (重本直利) <ゲスト講師; 田中宏> 「東アジア共同体構想—玄界灘を挟んでEUの卵を!—」、kw;外国人の人権
- 第14回 1・9 (李洙任・重本直利) <ゲスト講師; 鄭俊坤> 「なぜ今アジア共同体なのか」、kw;地域共同体
- 第15回 1・16 (李洙任・重本直利) <ゲスト講師; 佐藤洋治> 「アジア共同体の創成について」、kw;アジア共同体

<補足; ゲスト講師の紹介>

- 1) 牧野英二氏 (法政大学文学部教授); 哲学、倫理学。元日本カント協会会長、日本ディルタイ協会会長、韓国日本近代学会常務理事。最新刊『「持続可能性の哲学」への道』法政大学出版局、2013年、他多数。近著論文「東アジアにおける持続可能性な相互理解のために」『韓国日本近代学会国際学術大会発表論文集』第29号、2014年5月所収、「中国におけるカント哲学の翻訳史の現状と課題」『法政大学文学部紀要第68号』2014年3月。
- 2) 平田厚志氏 (龍谷大学名誉教授); 日本近世史、仏教思想史。以下省略。
- 3) 戸塚悦朗氏 (元龍谷大学法科大学院教授、英国王立精神科医学会名誉フェロー); 国際人権法。
- 4) 田中宏氏 (元龍谷大学経済学部教授、一橋大学名誉教授); 日本アジア関係史。以下省略。
- 5) 鄭俊坤氏 (一般財団法人ワンアジア財団首席研究員); 比較政治学、東アジア政治論、日韓関係論専攻、政治学博士 (明治大学)、明治大学、日本大学等の非常勤講師。
- 6) 佐藤洋治氏 (ワンアジア財団理事長); アジア共同体論。『アジア共同体の創成に向かって』(鄭俊坤との共編著)、芦書房、2011年。本書のテーマは「競争」から「共存」へ。人種・民族・国籍の壁をどう乗り越えるか。本書の目次は、アジア共同体の構想と進展/ いま、なぜアジア共同体なのか/ グローバリゼーションと国家の変容/ EU統合と拡大の軌跡/ アジア連帯主義とアジア国際関係/ 経済共同体の構築/ 安全保障共同体の形成と条件/ 東アジアにおけるエネルギー安全保障と資源協力/ 環境問題と環境協力/ 文化交流と人的交流の拡大/ アジア共同体構想の現実性と阻害要因/ アジア共同体の形成と市民社会の役割/ アジア共同体の創世に向かって。

以上